



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『エンジョイロータリー』

～Enjoy Rotary～

東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T

『夢をかたちに』

～Make Dreams Real～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年8月25日

No. 6



平成20年8月4日

卓話『RIとクラブの関係について』

第2750地区 ガバナー補佐

貝塚 進様



今日のテーマはRIとクラブの関係について。10年先にこれがどう変わり、我々はどのような心構えで対応すべきかです。

新藤ガバナー方針。強調事項は「水」「保健と飢餓救済」「識字率の向上」の3つ。2番目「地区組織の簡素化、地区財務の透明、適正化」、3番目「4大方針を基礎としたDLP、CLPの推進」、4番目「会員増強の維持、拡大」。5番目「ロータリー財団の救・支援とプログラムへの参加」、これは年次寄付1人100ドル以上お願いしますということです。ここでポリオプラス指定寄付、1クラブ1,000ドル以上とあります。何で1,000ドルかという、マイクロソフトのビル・ゲイツと奥さんのメリンダさんが財団を作り、ロータリークラブに3年間で1億ドル寄付する代わりに国際ロータリーも1億ドル出してください。これで完全にポリオをなくしましょうという方針です。今クラブが3万3千くらいあります。1クラブ1,000ドルで約1億ドルという逆算です。

次は「組織」。ガバナーの下にガバナー補佐が来てるんですね。その下に広報委員会とか5大委員会があります。これが今年からスタートしたシステムです。従来の個別カウンセラーを廃止し、新たにクラブ支援カウンセラーを設置します。

新しいシステム。地区補助金は従来の地区補助金と概念が変わり、またグローバル補助金という名前の新しい補助金が出ます。補助金は地区補助金とグローバル補助金の2つだけです。詳しく説明しますと、現行システムの教育的と人道的の垣根が取り払われ、内容によって地区補助金とグローバル補助金に振り分けられます。ポリオプラスと世界平和フェローシップは同一プログラムとして存続予定。従来の国際親善奨学金、GSE、DSG等のプログラムは廃止されます。グローバル補助金の重点分野の6つを

RIは重点施策として推進します。紛争解決、識字率向上、水と衛生、保健と飢餓、母子の健康、環境です。クラブリーダーシッププランのベストプラクティス。長期的な計画を立てなさい。2番目には長期的と同時に年次目標もよく見てください。空ばかりでなく足元もよく見てくださいということですね。それからクラブ関与を比較的多く開催して、会員の意思疎通を図ってください。5番目には指導者の継続性を確保する。今年終わったから来年はやらないというんじゃないで、指導者の継続性を確保しましょうということです。

ガバナー公式訪問の計画。新藤さん非常に意欲的で、単独又は合同会への訪問という形で、全クラブを回りたいと頑張っています。

ガバナー補佐からのお願いということで次の4つ。会員増強を通じて夢を形にしましょう。2番目、出席率の向上で夢を形にしましょう。皆さん、ガバナー月信のグループ別出席表ご覧になってますか。残念ですけど山の手東グループが一番出席率が悪いんです。3番目、10 for 2。これは浅田さんが前、席を置かれていた西ロータリーがやっているもので、2人の会員を10人でお相手するということです。このお陰で西ロータリーは過去3年間1人も退会していない。素晴らしいプログラムなのでそのノウハウを借りようということになりました。4番目、メイクアップで夢を形にしましょう。よそのクラブに沢山行って、どういう運営をしているか勉強しましょうということです。ご静聴ありがとうございました。

